

神奈川県まちづくり実行委員会 活動報告

報告日 平成20年 3月 16日(日) 報告者 労組名 全さいか屋労働組合 氏名 板谷 幸輝

開催日 平成20年3月14日(金)

開催場所 実験店舗shopあん・あん

参加者 板谷 幸輝(全さいか屋労働組合) 安井 裕之(相鉄ローゼン労働組合)
向園 英雄(JSD本部)

内容

地域再生をめざし、かつての「特殊飲食街」であった横浜黄金町のガード下の空き店舗を使用し、食の安全・安心をテーマとした実験店舗が週末に開かれている。そんな情報をキャッチし、早速訪問いたしました。鮮魚・ビール・野菜のお店が交代で入るとのことで、今回は鮮魚と神奈川産の食品加工品のお店でした。店内では、職人さんが魚の切り方や料理方法まで教えてくれながら販売しており、貝は新聞にくるんで渡すなど昔なつかしい魚屋です。隣のブースではその場で焼いた魚を食べたり、地元産の「横浜しょうゆ」や「横浜ビール」の販売が行われていました。かつてのまちのイメージを払拭し、変えていくのは長いみちのりだと思いますが、その第一歩目を感じとれた気がいたしました。

『まちづくりフォトアルバム』



《コメント》

お魚は氷の上で踊っているかのように新鮮でした。調理方法を丁寧に教えてくれてお客様は満足そうです。

《コメント》

全国都市再生モデル調査の支援を受けて改装した店内で、三味線を聴きながら、魚を味わう安井氏。なんとも素敵な雰囲気でした。

